

令和7年度
社会福祉法人すいよう会 障がい福祉部門
(社会福祉事業)
「多機能型事業所すいよう作業所」事業計画(案)
従たる事業所「陽だまり」

1. 運営方針

- ① ご利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って福祉サービスを提供する。
- ② 事業所は、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、福祉サービスを提供する関係機関等と連携及び協力を行い交流に努める
- ③ 正当な理由なく利用申し込み者に対して事業所サービスの提供を拒否しない

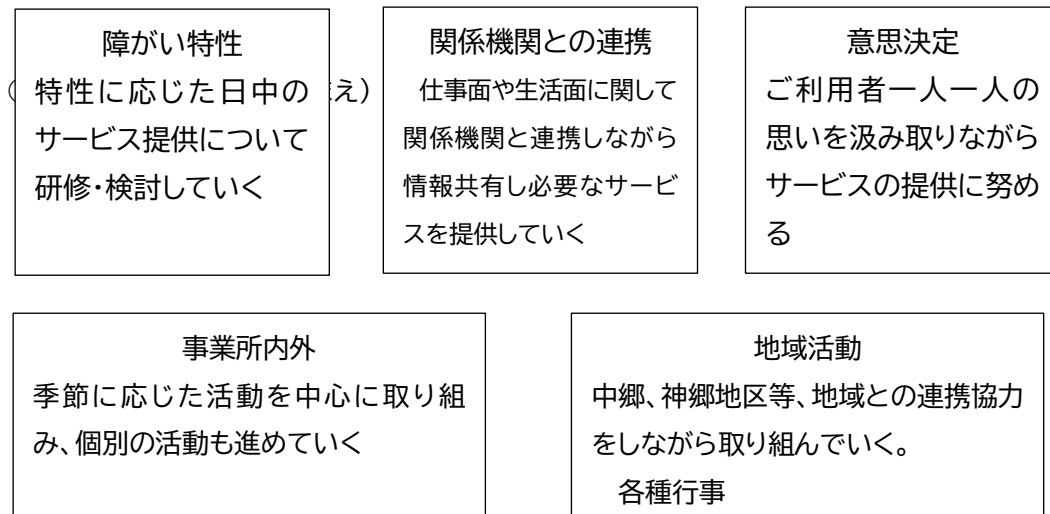
2. 事業目標

① 就労継続支援 B 型事業 定員13名

働く喜び 得意とする作業内容 の提供および役割や 達成感を共に感じる	工賃向上 作業料金の見直し、コス トの削減を意識しながら 工賃向上に努めていく	一般就労 可能な限り一般就労に 挑戦していく
意思決定 ご利用者一人一人の思 いを汲み取りながらサ ービスの提供に努める	関係機関との連携 仕事面や生活面に関して 関係機関と連携しながら 情報共有し必要なサービ スを提供していく	共同受注 市内の就労系事業所と 共同で作業に取り組む システムを構築してい く

② 生活介護事業 定員27名(主たる19名 従たる8名)

働く喜び 得意とする作業内容の 提供および役割や達成 感を共に感じる	健康 高齢化等に伴い健康観 察や服薬確認、体を動 かす機会の提供、家庭 との連携	活動 ご利用者主体の活動を 計画し、楽しさや生きが いを感じる
---	--	--



◎ボランティアの受け入れを積極的に行い、障がいの理解啓発、風通しの良い事業所を目指していく。

④ 個別支援計画について

サービス管理責任者を中心にご利用者の特性に応じた支援計画を作成し、実践していく。
また、計画相談事業所とも連携しニーズや必要なサービスの提案等実施していく。

⑤ 職員処遇について

●スキルの向上

○管理職(主任)

- ・常に全体最適を考慮して判断する
 - ・正確な現状の把握と早期の課題解決を行う
 - ・人間性と専門性の向上に努め、分け隔てなくご利用者・職員の状況把握を行う
- 【業務知識・瞬時の判断力・企画力・折衝力・指導力・調整力等】

○職員

- ・ご利用者の特性を把握し、個別対応力
 - ・担当業務を熟知する
 - ・担当業務以外も臨機応変に対応する
- 【行動力・業務知識・判断力・協調性・責任感・規律性】

○スキル向上に向けた取組

マイケアプランの作成 一年間の自己目標を設定し自己研修に努める	チーム力の強化 職員全体が臨機応変に対応する適応力を向上していく	健康面 自己の体調管理を行うとともに、有給が取りやすい職場環境
------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

職員面接 年3回の個別職員面接を実施。その際、各職員の考え方や現状について把握し、各職員からの提案や改善点について聞き取り事業運営に反映。また、自己点検票にて振り返りを実施するとともに、マイケアプランの目標に対する自己評価や達成度合いの見返し。

- ・職員会毎月第3木曜日 常勤職員会 随時 主任会 随時
- ・虐待防止員会 年4回以上 第1木曜日 その他必要に応じて
- ・感染症対策委員会 年4回以上 感染症に関する研修・訓練 必要に応じて
- ・業務継続に係る委員会 それに伴う研修・訓練随時
- ・生産性向上に向けた各種委員会

障がい特性 ご利用者の皆様の障がい特性に応じた支援の在り方 ・強度行動障がい ・精神障がい ・発達障がい ・高次脳機能障がい	制度 総合支援法をはじめ各種の法令に関する見識を深め法令遵守 ・労働基準法・食品衛生法等・消防法 ・交通安全基本法・道路交通法等
---	---

ヒヤリハット・事故等 日常生活上でのリスク等について研修を重ね職員一人一人の意識向上に務める	虐待防止 障がい者に対する虐待について ・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会の実施
---	--

意思決定支援

利用者一人一人の意思決定の支援に配慮し、意思決定に困難を抱える利用者の意思及び選好、判断能力等の把握に努める

業務継続計画 災害

平時より災害対策の推進を図りBCPを作成し研修・訓練を実施していく。また、作業等で所外に行くこともあるので色々な場面や状況を想定して研修・訓練を実施する

業務継続計画 感染

新型コロナウイルス感染症での経験を踏まえ各種感染症や今後新たに発生するであろう感染症に備えた研修、訓練を実施する

処遇改善加算取得に伴う生産性向上

職員の処遇や職場環境の見直し、整理整頓等を向上していくために定期的に委員会を開催し改善点の拾い出し及び改善策を模索しより良い労働環境を目指していく

⑥施設整備について

●移転に向けての計画作成

月	6月	7月	8月	9月	10月
指定関係		書類提出			事業開始
建物			完了検査	落成式	
移転				荷物の運搬	
備品関係	必要に応じて				

(収益事業)
「グループホームすいよう」事業計画(案)

●事業方針

現在、賃貸借契約を取り交わしている「NPO 法人まぜ」と連携しながら地域の障がいのある方の生活支援を共有していく。また、ホーム利用の障がいのある方が快適に生活を送れるよう建物の整備等しっかり行っていく。

「ルピナスすいよう」事業計画(案)

●事業方針

入居されている障がいのある方が安心して生活を送れるよう、計画相談事業所、居宅介護事業所と連携していく。また、作業所のスタッフも定期的に訪問し、日常生活上の相談等に関して解決していく。

令和7年度 高齢者福祉部門 事業計画（案）

【理念】

「利用者と共に、地域のパートナーとして・・・」

【ミッション】使命

地域の人口減少、労働者不足、介護ニーズの増加（その先にある介護ニーズの減少）、障がい者の増加、子育て支援の強化、その他、時代と共に変化する地域の福祉ニーズに対応する社会福祉法人であり続ける。

【ビジョン】目指すこと

1. 住み慣れた地域で、笑顔と感謝があふれる「自分で選ぶ人生」を支援する。
2. 深い経験・専門的知識を背景とした理論をベースに、感情にも配慮した合理的な支援を目指す。
3. 国の社会保障制度の存続を踏まえた保険制度による支援と、個人のニーズや要望に応じた保険外の支援の組み合わせによる総合的な支援を目指す。
4. 前向きに変化に対応できる組織・人材育成を目指す。
5. 法人が存続する適正利益を確保し、新たなサービスへの投資を続ける。
6. 地域でトップクラスの職員処遇を目指す。
7. 絶対的なリーダーに依存しない、考える組織風土を醸成する。
8. 人と自然と芸術との共生を目指す。

【バリュー】大切にしたい価値

1. 関わるすべての人（利用者、家族、職員、その他）の自尊心
・その人が大切にしたいこと ・自己選択
2. 笑顔
3. 感謝
4. 違いを知り、違いを認める
5. 人生・仕事の成果 = 考え方 × 情熱 × 能力
(プラス思考)
6. 自律と自立
7. 自発的な努力・成長
8. 可能性を信じる あきらめない

【重点目標】

1. 職員の継続的な賃上げを実現するために、生産性を向上し、全事業所の黒字化を目指す。
2. 介護の専門性は科学的介護推進の柱となっているＬＩＦＥに集約されるため、ＬＩＦＥ関連の業務を整理し、ＬＩＦＥ関連業務に携わることで、専門性の向上をはかる。
3. 効率的で生産性の高いチームケアが実践できるよう、ベースとなるチーム内の人間関係をより良くすることに努める。
4. 定期的な職員面談により、職員が働き甲斐を実感し、個人の目標と組織の目標が連動していることの理解を深める。
5. 子育て世代が働きやすい職場づくりの工夫を続け、地域の少子化対策に貢献する。
6. 必要な感染症対策を維持しつつ、外部と連携できるよう、新たな感染対策の方法を模索する。
7. BCPの実効性を高めるため、定期的な訓練とBCPの見直しを行う。
8. 利用者ニーズの分析を進め、効果的で効率的な広報活動を行う。
9. 地域包括支援センターランチ業務と地域密着型サービスの運営推進会議を中心に、地域との連携を深める。
10. ICT 機器等の利活用による業務の効率化、ペーパーレス化を推進し、生産性の向上を目指す。

【R7 年度 重点取り組み】

1. 管理会計による各部署の収支状況の把握と改善
 - ① 管理会計による収支状況の把握（年間最大収入・適正支出等の管理）
 - ② LIFE 関連加算取得要件の整備
2. 中堅職員の中途採用に強い人事制度への改定
 - ① 役割等級制度への移行
 - ② 役割に応じた手当の創設

- ③ 同一労働同一賃金の是正
- ④ 限定正職員の処遇明示
- ⑤ 基本給のベースアップ

3. 人事部・広報部の創設

- ① 人事に専任する職員を採用し、採用・人事制度の更新をスピーディーに行う体制を構築する。
- ② 広報部員によるホームページの更新、SNS 等による情報発信機能の強化

4. 次世代リーダーとなる中核職員の新規採用（若干名）

- ① 入所施設の生活相談員
- ② 居宅介護支援のケアマネジャー
- ③ 通所介護事業の生活相談員 兼 現場マネージャー
- ④ 入所・在宅を問わず活躍する看護師、理学療法士、作業療法士

5. 経営が理解できる管理職、次世代リーダーの育成

- ① 自部署の管理会計の担当
- ② 財務・人事に関する理解を深める管理職研修の継続
- ③ R6 年度デイ事業継続相談支援研修 成果の在宅部門への水平展開

6. ICT 機器導入による生産性向上

- ① 県 ICT 補助金を活用した特養への ICT 機器の導入
- ② サ高住入居者の安心・安全を確保するための ICT 機器の選定・導入

7. 技能実習生の受け入れ開始

- ① ミャンマーから 3 名。5 月以降の受け入れ。
3 年後、特養介護職員における外国人割合 2～3 割。6～10 名を順次育成。

8. 胃ろう注入・喀痰吸引できる介護職員の育成

- ① 看多機・サ高住に勤務する介護職員は、原則、全員が対応できるよう育成。
対応できる中途採用者も優遇できるよう配慮。

9. その他

- ① 特養アソカ・なの花の一体的管理に向けての看護・生活相談員業務の整理
- ② 効果的で効率的な法定研修（内部研修）の実施
- ③ 配置基準、加算要件に該当する資格の取得、外部研修の受講
- ④ 特養入所者預り金システムの再考

- ⑤ 外部講師、近隣法人と協力した介護技術研修システムの構築
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策の緩和
- ⑦ 外部ボランティアとの連携再開・強化
- ⑧ 人件費・食材費高騰に耐えうる給食提供方法の検討
- ⑨ 事務所を中心としたペーパーレスの推進 など

【中・長期計画】

《2025 年～2030 年》

- 次世代管理職、中堅職員の確保・育成。そのための組織風土・仕組みづくり。
- 物価上昇、賃金上昇に耐えうる財務体質づくり（事業の黒字化・利益最大化）
- 市内でトップクラスの職員処遇の実現
- 地域包括ケアシステムの進化・在宅医療充実計画の策定
- ICT 活用により業務効率化、ペーパーレスの推進

《2030 年～2035 年》

- 健全経営による各施設建て替え資金の確保
- 次世代リーダーの育成。事業所管理者への権限委譲の推進。
- 地域包括ケアシステムの進化・在宅医療充実計画の実行。
- 近隣法人の吸収合併の検討

《2035 年～2040 年》

- 史上最大となる介護ニーズへの対応
- 管理職層の本格的な世代交代
- 2040 年以降の介護事業縮小ビジョンの策定

《2040 年～2045 年》

- 地域における介護事業縮小プロセスの検討
- 高齢者施設 統合計画策定
- 新たな福祉ニーズへの対応

以 上

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 特別養護老人ホーム アソカ園 令和7年度目標: 1日平均(特養49人、短期13人)

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 特別養護老人ホーム アソカ園

NO. 2

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 訪問介護

令和7年度目標:一月合計(480)時間

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 訪問介護

NO. 2

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)	
5		事故防止	事故防止委員会の開催 事故防止の勉強会の実施 再発予防の検討 マニュアルの整備・更新	児玉	計画	事故防止委員会の開催(1回/月) 事故防止の勉強会の実施 再発防止策の検討(随時) マニュアルの整備													事故の防止 事故防止策の共有 適切な報連相	
					実施								緊急時対応・ 事故防止勉強 会							
6		緊急時対応	緊急時対応の勉強会の実施 利用者宅の緊急連絡先 の整備 マニュアルの整備・更新	児玉	計画	緊急時対応の勉強会の実施 ご利用者宅への緊急連絡先の設置・更新(担当者会で確認) マニュアルの整備													ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応 適切な報連相	
					実施			マニュアルの整備							緊急時対応 勉強会					
7		感染対策	感染症予防委員会の開催 感染症予防の勉強会の実施 シミュレーション訓練の実施	白石	計画	感染症予防委員会の開催(1回/月) 感染症予防の勉強会・シミュレーション訓練の実施													感染予防 感染まん延時の冷静な 対応	
					実施			勉強会・ シミュレー ション												
			日常的な感染対策の 継続	全職員	計画	標準予防着着用を徹底する アルコール消毒の徹底 出勤時の体温測定 随時感染予防策の更新。														
					実施															
			感染症まん延時の対 応	主:堀川 副:白石	計画	感染症BCP(業務継続計画)・マニュアルの随時更新をおこなう。														感染まん延時の業務 継続
					実施									更新見直し						
8		虐待防止	虐待防止委員会の開催 虐待防止の勉強会の実施 ハラスメント等に関する勉強 会の実施	堀川	計画	虐待防止委員会の開催(1回/月) 虐待防止の勉強会の実施 指針・マニュアルの整備													虐待の防止	
					実施										虐待防止 勉強会	指針・マニユ アルの整備				
9		防災	防災の勉強会の実施 訓練(シミュレーション)の実施 BCPの作成・更新	堀川	計画	防災の勉強会の実施 訓練(シミュレーション)の実施 BCPの作成・更新(風水害・地震・火災)													ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応 適切な報連相	
					実施									防災(BC P) 勉強会						

令和7年度 事業所別活動計画 No.1

部門(事業所名): リハステージ郷

令和7年度目標:一單位(半日)平均(12)人

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画 No.2

部門(事業所名): リハステージ郷

NO. 2

事業計画 No.	重点目 標との連動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月 (22日)	5月 (22日)	6月 (21日)	7月 (23日)	8月 (21日)	9月 (22日)	中間 評価	10月 (23日)	11月 (20日)	12月 (20日)	1月 (20日)	2月 (20日)	3月 (22日)	ゴール (目標達成)
8		通所間 居宅の連携	各種情報・研修の共有 連携・相談	白石	計画	各法人内通所事業所の交流・連携を目指す。													情報共有、連携 共通資源の活用 学びの共有
					実施														
9		適正収益の確保	新パンフレット作成 空き状況の発信	白石	計画	現利用者の居宅中心に情報提供機会を活用し、新規営業に繋げる。													空き情報の明確化 事業所の評価向上
					実施														
			延べ人数の確保 (1単位当たり)	白石	計画	220	220	252	276	231	264		276	240	240	220	240	264	実利用数1単位12名
					実施														
			延べ人数の確保 (1日当たり)	白石	計画	440	440	504	552	462	528		540	480	480	440	480	528	1日当たり登録30名 実利用数24名
					実施														
			登録実人数の確保	白石	計画	73	75	77	79	81	83		85	87	89	91	93	95	今年度登録95名
					実施														
			新規利用の確保	白石	計画	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	3	3	定期的な新規利用確保
					実施														
10		地域との連携	地域行事参加 GOPARKとの運営推進会議の合同開催	白石 榎	計画		合同研修	合同研修	運営推進会議						合同研修	運営推進会議			機能別通所の交流、相互理解 地域住民との交流 新規利用者の獲得
					実施														
11		GoParkとの連携	GoParkとの効率の良い送迎の実施	白石 全職員	計画	同一方向への効率的な送迎と適切な人員配置の検討 無駄のない車輛の編成													GoParkとも共同して実施
					実施														
12		ICTの活用	計画書等ソフト活用 入力方法の習得 マニュアル作成	全職員	計画	ICTを活用し、現状の計画書や加算対象となる書類等の移行・方法習得・マニュアル作成に取り組む。													ICTの活用 業務効率化
					実施														
13		災害時の 安全確保	災害時BCP 防災・防犯マニュアル の更新、確認、訓練	施設長 白石	計画	サービス提供中における災害対策を身に着ける。在宅生活における災害時の安全について啓発を行う。													災害対策の理解、協力 ご利用者・職員の災害時の 安全確保(準備)
					実施	防火訓練		水防訓練 BCP訓練			地震訓練		BCP訓練	防火訓練				地震訓練	

部門(事業所名): 特養なの花

令和7年度目標:一日平均(28.5)人

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 特養なの花

NO. 2

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名):ショートステイなの花

令和7年度目標:一日平均(18.8)人

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		安定した運営に 向けて	事業収益を上げる 利用者一人当たりの 単価を上げる	森川	各居宅事業所との情報共有を行い、相談から面接・契約・お試し利用までをスムーズに行い定期利用につなげる。													月平均18.5人以上
			ロング枠の満床 (9ベッド) 特養への入所をス ムーズに行う	森川 相談員	ロング枠の情報共有を特養と連携する													収入アップ ベッド稼働率のアップ
2		防災・減災に向 けて	定期訓練の実地 BCPの更新	全職員	マニュアル改定 見直し													災害時の迅速な対 応ができ減災及び事 業を継続することが できる。
											地震訓練	災害対 策						
3		やりがいと働き やすい職場環境 に向けて	働き方アンケートの実 施	全職員	業務制限などの希望調査をし、個人にあった働き方に配慮する													離職者ゼロ ジョブ型雇用の実 現
					面談								面談					
			有給取得率の向上	全職員														業務改善による取得 率年間10個以上
			生産性向上への取り 組み	全員														
4		事故防止	事故・ヒヤリの集計と 分析	全職員														事故発生数の減少
								集積 分析								集積 分析		
		感染対策 新型コロナ感染 予防	定期訓練の実地 BCPの更新	全職員	地震訓練時には全職員の安否確認を行う。(災害緊急時ラインでの安否確認も実施する)													災害時の迅速な対 応ができ減災及び事 業を継続することが できる。
			防火訓練	水分訓練	防犯訓練	地震訓練					防災訓練			地震訓練				
5		専門性の知識 の習得と実践	会議の実施① 内部/ 各種訓練・勉強会	副主任	1回/月の業務改善会議を開催。各勉強会の実施、困りごとの話し合い、行事の振り返り等													根拠ある ケア内容・業務 内容の統一
					身体 拘束	虐待 防止	法令 順守	ハラスメント 防止				危険 予知	食中毒	感染症		認知症	年度振り 返り	
			コロナ含め 感染症対策	森川	BCP/マニュアル改定、見直し、ご利用者緊急連絡先等確認、洗い出し(フェイスシート最新版)													感染症の知識を習 得し、 デイでの蔓延を防 ぐ
			災害時対策	森川	マニュアル改定、見直し													防災知識の習得と 実践
							地震 訓練		災害対 策(地域住民 と)						地震訓練			

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): デイサービスセンターアソカ園 令和7年度目標:一日平均 32人

令和7年度目標;一日平均 32人

NO. 1

[illegible]

部門(事業所名): デイサービスセンターアソカ園

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 居宅介護支援事業所 アソカ園

事業計画 No.	重点目 標 運動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		適正収益の確保	給付管理に繋がる新規獲得ができる様に事前準備を行い担当者に引き継ぐ。また、給付管理後、月次日報を作成し、その都度、収益増減の原因を明らかにし、解決方法を探っていく。	渡辺	計画	要介護者の新規獲得と加算の算定、入院者の減少						要介護者の新規獲得と加算の算定、入院者の減少						給付管理に繋がる新規獲得を目指す。要介護3、4、5の受け入れや入院者を少なくすることで収益を上げることができる。また、要支援者を受け入れることで先の要介護者の確保に努め、目標人数の達成につなげることができる。安定した収入を確保することができる。	
					(目標数)	128	128	130	131	131	131	132	132	132	133	133	133		
					(入院者)	6	5	7	7	7	7	7	5	5	8	6	5		
					実施														
			要支援者担当人数の維持を図り、今後の要介護者の確保に努める。	渡辺	計画	要支援者の担当人数維持						要支援者の担当人数維持							
					(総人数)	42	42	43	43	44	44	46	46	48	48	50	50		
					実施														
			十全総合病院、住友別子病院、愛媛労災病院、西条市民病院のMSWへの営業活動や包括支援センター、ランチへ働きかけ、要介護者の新規獲得に努める。	全員	計画	要介護者の新規獲得、病院・保険者主催の研修会への参加						要介護者の新規獲得、病院・保険者主催の研修会への参加							
					(新規)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
				全員	計画	残業時間削減(フェースシート、ケアプラン、経過記録作成時間短縮、ペーパーレス)						残業時間削減(フェースシート、ケアプラン、経過記録作成時間短縮、ペーパーレス)						居宅業務の効率化を図り残業時間を減らすことができる。	
					実施	60	60	58	58	55	55	53	53	50	45	45	40		
				渡辺	計画	特定事業所集中減算にならないよう、各サービスの紹介率の確認や加算の確認を定期的に行う。	紹介率の確認							事業所自己評価					
実施																			
2		専門的知識と技術の向上	業務の標準化や優先順位の整理、報道相の精度を上げ、事業所としてのケアプラン作成を行う。また、内部研修や会議にて課題の改善策の検討を事業所全体で行っていく。	全員(順次)	計画	虐待防止			プライバシー			認知症		パワハラ		倫理・法令順守		事業所が処遇方針を決定するプロセスを踏み、適切なケアプラン作成ができる。また、課題に対する改善策を事業所全体で考え、幅広い知識を得ることができる。	
					実施														
			地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修やオンライン等を活用し各方面の研修に参加する機会を増やす。	全員(順次)	計画	外部研修、居宅部会、病院、保険者主催の研修会、地域ケア会議、他事業所との共同事例検討会、ヤングケアラー、障がい者、生活困窮者、難病患者等への支援に関する知識などに関する事例検討会、研修等への参加(随時)						外部研修、居宅部会、病院、保険者主催の研修会、地域ケア会議、他事業所との共同事例検討会、ヤングケアラー、障がい者、生活困窮者、難病患者等への支援に関する知識などに関する事例検討会、研修等への参加(随時)						適切なケアマネジメント手法を活用することで、ケアマネジメントの質を一定以上の水準に保つことができるようになる。	
					実施														
				全員	計画	残業時間や有休取得時の事前申請、フレックス制の活用、在宅ワークの推進						残業時間や有休取得時の事前申請、フレックス制の活用、在宅ワークの推進						働きやすい職場環境を作ることができ離職の防止ができる。また、ケアマネジャーを目指す人材が増える。	
					実施														
3		労働環境の整備	労働環境の改善を図り適切な管理を行い、評価基準を定めることができる。	全員	計画	マイケアプラン、評価面談						マイケアプラン、評価面談							
					実施														
4		感染症、積雪、地震、豪雨等の災害に対しての備え	感染症や災害・積雪・大雨・暴風時の注意喚起を継続する。また、独居や高齢者夫婦等、安否確認が必要な方や対策の必要な方たちの把握を行い災害時に備える。	全員	計画	利用者様へ注意喚起、対象者の確認、新型コロナウイルス・災害・積雪・大雨・暴風時のBCP(業務継続計画)の更新						利用者様へ注意喚起、対象者の確認、新型コロナウイルス・災害・積雪・大雨・暴風時のBCP(業務継続計画)の更新						感染症対策を通常業務として捉え、発生時や災害時でも適切なマネジメントが継続できるように備えておく。	
						対象者名簿の確認						対象者名簿の確認							
					実施														

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 地域包括支援センター協力機関(ブランチ)アソカ園

[illegible]

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): GoPark

NO. 2

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画 No.1

部門(事業所名): ケアハウス白寿

令和7年度目標： 延べ 26 人／月

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画 No.2

部門(事業所名): ケアハウス白寿

NO. 2

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
9		各種研修	法定研修の計画・実施 外部研修へ参加	主)久保 全職員	計画	専門職としての知識の習得、苦手克服・向上のため、学びの機会を持つ。(法定研修:別紙計画)													社会人としての向上 専門職としての向上
					実施	法令順守	感染1 食中毒	身体拘束1	事故1 虐待1	ハラスメント				認知症 医療		感染2	身体拘束2	事故2 虐待2	
10		各種委員会	感染対策・事故防止・身 体拘束・虐待防止・各指 針、マニュアル確認	主)久保 柴田 全職員	計画	他部署と情報共有を行いながら、検討事項や対応確認を行い、予防・改善に務める。													事故の未然防止、適 切なケアの統一・安心 安全の提供
					実施	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食		事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	事故防止 給食	
							感染対策			感染対策				感染対策			感染対策		
						身体拘束・ 虐待防止			身体拘束・ 虐待防止				身体拘束・ 虐待防止			身体拘束・ 虐待防止			
11		各種訓練	居室内の非常時対策 災害・感染症想定訓練 各マニュアル確認・更新 各BCP整備・更新	主)久保 柴田 全職員	計画	災害・感染症発生時の初動を確認し、職員・入居者の安全を確保する。各BCPを整備する。													災害対策の共有 感染症対策の共有 発生時の連携 安全の確保
					実施	感染 防火	感染BCP	水防	災害BCP	防犯	地震 居室安全確認			感染	防火	感染BCP	災害BCP	地震 居室安全確認	
					計画	入居者が主体的に、安心安全な生活ができるよう、職員と共に学びの機会を持つ。													
		入居者参加型の訓練 入居者定例会での周知	奥野谷 久保	実施	感染対策 火災対策		台風対策		防犯対策	地震対策			感染対策	火災対策			地震対策	※アソカ特養との 連携強化	
12		感染症対策	感染予防策の継続 情報収集 物品の確認・補充 マニュアルの更新	全職員	計画	感染状況に応じて適切かつ神速な対応がとれるよう準備を行う。関係機関との連携を図る。													感染症発生未然防止 発生時の迅速な対応 蔓延防止
					実施														
13		緊急時対応	救急搬送先の再確認 特養夜勤者との連携	全職員 特養夜勤者	計画	急変時、落ち着いて対応できるよう、情報収集・マニュアル確認を行う。本人・ご家族の意向確認を行う。													救急時対応の統一 迅速な対応 医療との連携
					実施														
14		適正収益確保	入居相談・見学対応 待機者の現況確認 入退居に係る業務分担 定期的な空室案内	主)久保 全職員	計画	平均入居者数26名を目指し、入退居に関する準備を円滑に行う。													空室の短期化 収益改善
					実施	待機者へ予約継続・終了の確認連絡を行う。 相談者の情報収集・見学者の対応を行う。退居から次期入居までの準備を、分担・協力して行う。													
15		環境整備	館内・館外の清掃 木の消毒・除草 整理整頓 掲示物更新	全職員	計画	整理整頓を心掛け、各職員が分担して掃除を行う。													快適な空間の提供
					実施	換気・消毒・室温管理													
							除湿器設置					加湿器設置							
						倉庫整理・ バルサン	エアコン 掃除	カビ対策	ベランダ 清掃		ワックス			エアコン 切替確認	ベランダ 清掃	消毒強化		害虫対策	

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ほの花

令和7年度目標:一日平均(17.6)人

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ほの花

NO. 2

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ひまわり乳児園

NO. 1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ひまわり乳児園

NO. 2

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): かんたき satoiro

令和7年度目標:

登録 15名

通い平均 9名

泊り平均 7名

NO.1

[illegible]

令和7年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): かんたき satoiro

NO.2

[illegible]